

大垣市公立園（幼保園・保育園・幼稚園） における支援の場

お子さんにこんな様子はありませんか？

- ことばの発達が遅い（発語がない・おうむ返しがある・言葉の理解が難しい）
- 話しかけても反応が少ない
- 苦手な感覚（音・感触等）がある。
- 人への関心が薄く真似をしない。
- じっとしていられなかったり、よく迷子になったりする。
- 行動の切り替えが難しい。
- 「こだわり」が強く興味をもつものが少ない。
- 視線が合いにくい。
- 偏食が激しい
- など

大垣市の公立園（幼保園・保育園・幼稚園）には、以下のような支援の場があります。

クラス保育（統合保育）

- クラス保育の中で、同年齢の子の刺激を受け成長し、社会生活の土台を築きます。
- ユニバーサルデザインの視点を取り入れたクラスづくりに取り組んでいます。
- 配慮が必要なお子さんも、クラス保育を基本に、必要に応じ、個別保育や少人数保育、あるいはことばの教室における指導を行います。

少人数保育

- 特性を踏まえ、集団生活を送る上で必要な力を身に付け、クラス保育に繋げるための力を育みます。
- 普段は、クラス保育にて保育・教育を受け、年12回程度（30～60分/1回）、少人数でのグループ保育を受けることができます。
- 5歳児と4歳児が対象です。

個別保育（指導）

- 統合保育リーダー（専任保育者）が、個に合わせた保育（指導）を行います。
- 普段は、クラスにて保育・教育を受け、年30回程度（30～60分/1回）、個別保育を受けることができます。
- 令和7年度は実施する7園に在籍する3～5歳児を対象に行います。

ことばの教室

- 口腔機能を高め、正しい発音の獲得を促す指導を行います。
- 普段は、各園のクラスにて保育・教育を受け、年35回程度（50～80分/1回）個別指導及びグループ指導を受けることができます。
- 公私立園の5歳児と4歳児が対象です。（民間園在籍園児も通室できます）
- 実施園（4園）にて行います。